



協和発酵バイオ株式会社

商号	協和発酵バイオ株式会社
設立	2008年10月1日
資本金	100億円
従業員数	1,894名(連結)
代表者	代表取締役社長 南方 健志
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目9番2号 (大手町フィナンシャルシティ グランキューブ) TEL: 03-5205-7300 http://www.kyowahakko-bio.co.jp/
事業内容	医薬品原料、各種アミノ酸、健康食品の製造・販売
親会社	キリンホールディングス株式会社



「医」と「食」をつなぐ。

KYOWA HAKKO BIO CORPORATE GUIDE

「医」と「食」をつなぐ。

KYOWA HAKKO BIO
CORPORATE GUIDE



協和発酵バイオ

キリングroup

KYOWA HAKKO BIO

「医」と「食」を、つなぐ。

“治療”の現在から“予防”の未来のために
私たちは、長年培った自然由来の発酵技術で
世界中の人々の健康と豊かさに貢献します。



KYOWA HAKKO BIO

BY THE NUMBERS

数字で見る協和発酵バイオ



利益

約 81 億円

従業員数

外国人従業員

日本人従業員

607人 1287人

売上高

約 782 億円



売上高国内外構成比



有給休暇取得率



キリンググループの中心で 「医」と「食」をつなぐ。

医と食をつなぐ、 協和発酵バイオの事業領域



MESSAGE

医と食の両面で強みを持つキリンググループは独自のビジネスモデル構築により、誰もが願う健康課題の解決に貢献します。健康な人を増やし、病気になる人を減らし、予防・治療に関わるすべての人に貢献する。

その中心となるのが、発酵技術で「医と食をつなぐ」協和発酵バイオです。

協和発酵バイオ株式会社 代表取締役社長 南方 健志

私たちは2027年までの長期計画として、下記の2つのビジョンを掲げています。具体的にはファインケミカル事業・コンシューマープロダクト事業・新規事業の3つの事業戦略のもと、さらなる発展成長を目指し、わくわくする未来に向けて「社会貢献と高収益」を両立し、企業価値を向上させてまいります。

長期ビジョン

バイオケミカルの
先端技術を駆使してグローバルな
社会課題を解決する

人々の健康と
サステイナブルな
社会の実現に貢献する



新規事業



コンシューマー
プロダクト事業



ファインケミカル事業





社会に密着した製品を通して 「医」と「食」を、つなぐ。

医療品や乳幼児食品などの各分野へ高品質な原材料を提供する

ファインケミカル事業（B to B）と直接お客様に

健康食品等をお届けするコンシューマープロダクト事業（B to C）で、

これからも人々の健康を支えていきます。

ファインケミカル事業



機能性アミノ酸や核酸に代表されるファインケミカル製品を製造し、お客様へ提供しています。その用途は幅広く、医薬品原薬・中間体・細胞培養培地・化粧品・健康食品など多岐にわたります。市場ニーズに沿った機能性素材を開発し、各分野へ供給することにより、世界の人々の健康と豊かさにご貢献することを目指しています。

また、原料の提供だけでなく高付加価値な商品作りにも注力し、原料開発から商品の製造までトータルにお客様の商品作りをサポートしています。

〔製品例〕



輸液



薬



医療食



培地



粉ミルク



健康食品



スポーツドリンク



化粧品

主な取り扱い製品

■ 医薬品原薬

- ・シチコリン
- ・アラニルグルタミン
- ・ブラバスタチン

■ 医薬品・工業用アミノ酸、核酸、有機酸、糖関連物質

- ・アミノ酸（L-アルギニン、L-イソロイシン、L-オルニチン など）
- ・核酸（ATP、シチコリン など）
- ・有機酸（リンゴ酸 など）
- ・糖関連物質（シアル酸 など）

■ 海外ブランディング素材

- ・Cognizin®
- ・Setria®
- ・SUSTAMINE®



Pick up!

コグニチン

KYOWA HAKKO U.S.A., INC.（アメリカ・ニューヨーク）は2018年11月6日～10日、アメリカ ネバダ州ラスベガスにて開催された米州最大の栄養補助食品、スポーツ栄養、機能性食品展示会 Supply Side Westにおいて、「Cognizin（一般名 シチコリン）」を当社主力健康食品素材として出展しました。シチコリンは、日本国内では医薬品として使用されていますが、米国では脳機能改善を目的とする機能性食品・飲料・栄養補助食品として販売されています。





社会に密着した製品を通して 「医」と「食」を、つなぐ。

コンシューマープロダクト事業



協和発酵バイオブランドの健康食品を通信販売で個人のお客様へお届けしています。アミノ酸のリーディングカンパニーならではの開発力で、自社製造のアミノ酸を配合した製品を中心にお客様のさまざまなニーズに応える製品群を取りそろえています。

〔製品例〕



主な取り扱い製品

■ 通信販売

- ・オルニチン
- ・オルニチンドリンク
- ・VELOX（ヴェロックス）チャージ
- ・シトルリンZn
- ・アルギニンEX
- ・発酵コエンザイムQ10EX
- ・iMUSE（イミューズ）
- ・アミノ プルミエ
- ・発酵グルコサミン
- ・まいにちコラーゲン
- ほか



Pick up!

VELOX（ヴェロックス）チャージ

一酸化窒素（NO）産生において欠かせないのが、アルギニンとシトルリンです。それぞれ単体でも十分な働きを持つこの2つのアミノ酸を組み合わせることで、持続的なエネルギーをさらなる相乗的な働きがあることを当社研究チームが発見しました。この科学的エビデンスに基づき、アルギニンとシトルリンを各1500mg配合したのが「VELOX（ヴェロックス）チャージ」で、この配合は日米で特許を取得したオリジナルバランスです。



循環型社会に貢献する取り組み

SDGsの以下のグローバル目標に取り組み、その達成に向けた具体的な評価項目を定めました。

※ SDGsの詳細につきましては、外務省ホームページでご確認いただけます。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	12 つくる責任 つかう責任 	限りある天然資源の枯渇、不足に対するソリューションの開発 評価項目 新規ソリューション開発	12 つくる責任 つかう責任 	15 陸の豊かさも守ろう 	事業活動で排出される廃棄物の削減 評価項目 廃棄物低減率の改善
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	13 気候変動に具体的な対策を 	生産効率向上によるエネルギー使用量削減 評価項目 エネルギー原単位改善 事業活動全体において温室効果ガス排出量を削減 評価項目 温室効果ガス排出原単位改善	6 安全な水とトイレを世界中に 	生産活動における水使用量の削減 評価項目 工場の生産量当りの水使用量の削減	

【水源の森活動と、汚泥減容設備】

水という大切な資源を利用して「発酵」によるアミノ酸製造をしています。自然の恵みである水に感謝して、毎年「水源の森活動」を実施しています。また、排水処理施設では「汚泥減容プロセス」を導入し、余剰汚泥の発生量を半減させ、廃棄物削減にも貢献しています。さらに、発酵廃液からリン酸を回収する設備も建設し、リン含有量の高い回収物を「肥料として有効利用」することで、リン資源のリサイクルにも貢献しています。

※減容・・・下水処理場で発生する汚泥などの「容積を減らす」という文脈で使う用語。

※リン酸・・・植物の3大栄養素「窒素・リン酸・カリウム」として知られる。

廃水処理設備（沈殿槽）





多様な人材を力に 「医」と「食」を、つなぐ。

ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、
新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに
貢献するという理念のもと、さまざまなスキルを持った人材が
日々関わり合いながら業務を進めています。



山口事業所防府 製造第3課

協和発酵バイオでは、代謝制御発酵で各種アミノ酸を製造。さまざまなイオン交換樹脂を組み合わせ不純物を取り除き、限りなく純粋な「アミノ酸単体」を結晶として取り出します。その後、残った水分を除去するため乾燥機にかけ「原料粉末」が完成します。一番意識していることは、仲間との情報共有です。培養、精製グループも、一人ひとりが「いいものを作る」という思いで繋がり、「さすが協和発酵バイオの品質」と言ってもらえる製品を当たり前前に納品できるのだと思います。



ファインケミカル営業部

約3年間国内営業担当として経験を積み海外にも駐在。今は米州地域統括グループの一員として米州営業拠点の営業活動をサポートしています。米州販売拠点の売上管理や、日々のお客様のニーズに応えるためのサポートです。単にサポートといっても、米州での規制対応から今後の営業戦略まで内容は多岐にわたります。お客様にとってベストなシナリオを描けているか、日々意識しながら取り組んでいます。

BIOKYOWA,INC. Technical Department

品質保証部で研究分析担当として経験を積み、現在は技術部で、工程試験・最終製品分析・培養管理を担当しています。技術部門は、プラント全体の工程改善案を作り運用する責任があります。改善案は生産量や品質向上だけでなく、生産コストや環境への影響も視野に入れ立案せねばなりません。日々変化する状況に素早く対応し発酵を制御するのは、想像以上にチャレンジングでエキサイティングな毎日です。



R&Iセンター イノベーション防府ユニット 精製プロセス開発G

品質を重要視しすぎて精製工程をたくさん組み込むと製造経費がかさみます。結果、お客様には高価格で購入いただくねばならず、大きな負担をかけてしまいますし、当社も思うように利益を出せないこともあるでしょう。だからと言って、製造費を気にしすぎると十分な品質を担保できない可能性もあります。「安全性を担保する」ということは、企業価値を決めるうえでも、とても重要な項目のひとつです。





実績を糧に未来へ

「医」と「食」を、つなぐ。

協和発酵バイオの母体となる協和発酵工業は、
1949（昭和24）年に創立しました。創立から70年を迎え、
今新たにキリングループの一員として
「医と食をつなぐ領域」の未来を最前線で担っていきます。

- 1949年（昭和24年） ● 協和産業（株）の第二会社として協和発酵工業（株）設立
- 1951年（昭和26年） ● ストレプトマイシン製造技術を導入し、量産開始



ストレプトマイシン製造技術導入

かつての日本において、「不治の病」として恐れられた結核菌撲滅に多大な貢献をしました。
- 1956年（昭和31年） ● 昭和天皇・皇后両陛下が施設をご見学

世界で初めて発酵法による
L-グルタミン酸の生産技術を発明

1956年
- 1960年（昭和35年） ● L-グルタミン酸の製法の発明に内閣総理大臣発明賞受賞
- 1966年（昭和41年） ● 「発酵によるアミノ酸の生成に関する研究」に日本学士院賞受賞
- 1977年（昭和52年） ● 発酵廃液の再資源化と水質改善の成果に関して、我が国初の環境庁長官賞受賞
- 2004年（平成16年） ● 機能性アミノ酸「オルニチン」等各種アミノ酸を発表

2004年

2004年
- 2008年（平成20年） ● 協和発酵工業（株）バイオケミカル事業を分社化し、協和発酵バイオ（株）設立

2008年

2008年
- 2017年（平成29年） ● プラズマ乳酸菌「iMUSE（イミューズ）」新発売
- 2019年（平成31年） ● 協和発酵キリン、協和発酵バイオの株式をキリンホールディングスへ譲渡

2019年

2019年



1956年

世界で初めて発酵法による L-グルタミン酸の生産技術を発明

「たんぱく質をたくさん作っても採算が取れそうにない。いっそたんぱく質の構成成分であるアミノ酸を量産しよう」。木下研究員は、微生物からアミノ酸を生産することを考えました。1956年に発酵工程によりアミノ酸の1つである「グルタミン酸」を作り出す菌を発見。アミノ酸の量産に世界で初めて成功しました。



2004年

「オルニチン」等、各種機能性アミノ酸を発表。

通信販売事業を立ち上げ、多様なニーズに応える自社製造のアミノ酸を、個人のお客様へお届けしています。

オルニチンとは…

アミノ酸は、私たちの身体の約20%を占め、生命活動を維持するために欠かせない重要な成分です。中でも、オルニチンは、生活のリズムや食生活の乱れを気にする現代人の健康をサポートする特別なアミノ酸です。近年の研究により、オルニチンはしじみの健康パワーの源だとわかってきました。有害なアンモニアを尿素に変換する作用など、肝臓のさまざまなはたらきを助けることが知られています。



2008年

協和発酵工業（株）バイオケミカル事業を分社化し、協和発酵バイオ（株）設立

協和発酵工業（株）とキリンホールディングス（株）は、両グループの相互の強みを生かした戦略的な業務提携を発表しました。競争力強化や経営効率の向上、シナジーの最大化を図り、さらなる企業価値の向上を目的とした提携です。これにより新しく「協和発酵バイオ（株）」が誕生しました。



2019年

株式譲渡により、キリンホールディングス（株）の直接子会社へ。



協和発酵バイオのグローバルネットワーク

海外販売拠点

- | | |
|---|--|
| ① KYOWA HAKKO U.S.A., INC.
アメリカ・ニューヨーク | ⑥ 協和発酵（広東）医薬有限公司
KYOWA HAKKO (GUANGDONG)
PHARMACEUTICAL CO., LTD.
中国・広州 |
| ② KYOWA HAKKO Europe GMBH
ドイツ・デュッセルドルフ | ⑦ 協和発酵（広東）医薬有限公司 北京分公司
KYOWA HAKKO (GUANGDONG)
PHARMACEUTICAL CO., LTD. BEIJING BRANCH
中国・北京 |
| ③ KYOWA HAKKO BIO ITALIA S.R.L.
イタリア・ミラノ | ⑧ 協和発酵（広東）医薬有限公司 上海分公司
KYOWA HAKKO (GUANGDONG)
PHARMACEUTICAL CO., LTD. SHANGHAI BRANCH
中国・上海 |
| ④ KYOWA HAKKO BIO SINGAPORE PTE LTD
シンガポール | |
| ⑤ KYOWA HAKKO BIO INDIA PRIVATE LIMITED
インド・ムンバイ | |

生産拠点

- | |
|--|
| ⑨ BIOKYOWA, INC.
アメリカ・ケーブジラード |
| ⑩ SHANGHAI KYOWA AMINO ACID CO., LTD.
中国・上海 |
| ⑪ THAI KYOWA BIOTECHNOLOGIES CO., LTD.
タイ・ラヨン |
| ⑫ 協和ファーマケミカル株式会社
日本・富山県 |
| ⑬ 山口事業所
日本・山口県 |

国内拠点

協和発酵バイオ株式会社

本社

住所：東京都千代田区大手町1-9-2
〒100-0004
（大手町フィナンシャルシティ グランキューブ）
TEL：03-5205-7300
【健康食品の通信販売に関するお問い合わせ先】
TEL：0120-80-7733

販売拠点

東京支店

住所：東京都中央区日本橋箱崎町36-2
〒103-8503
（Daiwaリバーゲート）
TEL：03-5641-8636

大阪支店

住所：大阪府大阪市北区堂島1-6-20
〒530-8280
（堂島アバンザ）
TEL：06-6346-6988

研究開発拠点

R&Iセンター

（バリュエーションユニット・
イノベーションユニット）
住所：茨城県つくば市御幸が丘2
〒305-0841
TEL：029-856-4121

生産技術研究所

R&Iセンター

（イノベーション防府ユニット）
住所：山口県防府市協和町1-1
〒747-8522
TEL：0835-22-2518

生産拠点

山口事業所 防府

住所：山口県防府市協和町1-1
〒747-8522
TEL：0835-22-2511

ヘルスケア土浦工場

住所：茨城県稲敷郡阿見町阿見4041
〒300-0331
TEL：029-888-8035

協和ファーマケミカル株式会社

住所：富山県高岡市長慶寺530
〒933-8511
TEL：0766-21-3456